

(概要版)

自己有用感を高める学級活動の研究

— 話し合いと振り返りの工夫を通して —

長期研修員 青木 千枝子

現状と課題

目立ちたくない。
本音を言ったら嫌われるかも。
人のことなんてかまわない。

群馬県学校教育の指針

よりよい生活や人間関係を築く力の育成を目指す

【生徒指導における指導の重点】
互いに認め合う学級をつくること

児童の自己有用感を高めよう。

どうして自己有用感なの？

Q1 自己有用感とは？

自分の属する集団の中で、自分がどれだけ大切な存在であるかということ自身で認識することです。

Q2 自己有用感が高まると？

友達を信頼し、思いを素直に表現したり、自信を持って集団の中で力を発揮したりできるようになります。

Q3 自己有用感を高めるには？

児童同士が共に行動する中で、「大切にされた」「役に立っている」と感じることで、児童の自己有用感が高まります。

Q4 一人一人が「大切にされた」「役に立っている」と感じられるように、何をしましたか？

児童同士が助け合ったり、協力したりできる学級活動を計画し、その話し合いや振り返りを工夫して行いました。



Q5 具体的にどんな工夫をしましたか？

「話し合いシート」を活用した話し合いの在り方を工夫し、一人一人の意見を大切にする話し合いを行いました。また、「振り返りシート」を活用し、自分が役に立っていると実感することができる振り返りを行いました。

話し合い

<話し合いⅠ>
学習クイズ大会で行うクイズを見つけよう。
発言できない児童がいるのですが・・・

ブレインストーミングの考え方を活用し、アイデアをどんどん出し合います。それを、肯定的に聴いてもらうことで、自分の意見を持ち、発言することの気持ちよさを味わえるようにします。

学習クイズ見つけシート (班)

国語	社会	算数
四字熟語クイズ	都道府県クイズ	四則計算穴埋めクイズ
漢字書き順クイズ	国旗クイズ	公式クイズ
ことわざクイズ	歴史人物クイズ	計算クイズ
理科	音楽	図工
動物		
昆虫		
酸性アルカリ性クイズ	音当てクイズ	

・付箋紙に書いてから発言するので、あまり緊張しなかったよ。
・付箋紙をシートに貼りながら、順番に発言したよ。

発言できたよ。
・付箋紙に書けない児童には、個別に支援をしました。
・発言できたことを十分にほめました。

<話し合いⅡ>
自分の班が行うクイズの種類を決めよう。
人の意見を聴かない児童がいるのですが・・・

発言し、聴いてもらう気持ちよさを味わうことで、他者の話を聴こうとする意欲を高めます。

ランキングシート (班)

やりたいものから順に□に番号を

歴史人物クイズ	①②③ (9)
計算クイズ	()
都道府県クイズ	①② (7)
国旗クイズ	③③③ (17)
いろんなマーククイズ	①①① (3)

順番に意見を述べたよ。「最後まで話を聴く」ことが話し合いの約束だったので、みんな静かに聴いてくれたよ。

似ているクイズを一つにまとめたよ。班長が全員の考えを確認してからまとめたよ。黙っていたら、声を掛けてくれたよ。

一番やりたいクイズ3点、2番目2点、3番目1点。合計点が一番多いクイズを行うことに決めましたよ。みんなの考えがいかされたよ。

よく聴いたよ。
黙っている児童がいたときには、「～さんはどう思うの?」「みんな、～さんの考えを聴こうよ」などと声を掛けました。

<話し合いⅢ>
準備や当日の仕事の分担を決めよう。
自分の意見を押し通そうとする児童がいるのですが・・・

仕事分担を決める話し合いでは、話し合いの約束や順序を明確にすることで、相手のことも考えながら意見を述べたり、相手の考えを聴いたりして、折り合いをつけて意見をまとめられるようにします。

仕事分担シート

作業内容	A男	B子	C男
1 ルール説明をする。	計る。	司会をする。	ルール説明する。
2 司会をする。	問題を出す。	問題を出す。	問題を出す。
3 問題を出す。	ヒントを言う。	ヒントを言う。	ヒントを言う。
4 得点発表	答えを言う。	答えを言う。	答えを言う。
5 ヒントを言う	問題をやる。	問題をやる。	問題をやる。
6 得点シールをは			
7 答えを言う。			
8 得点の計算をする。			
9			

話し合いながら付箋紙を操作するので、話し合いの順序や経過がシートを見れば分かるよ。

同じ仕事を希望する人がいるか、必ず確認したよ。希望者が複数いたときは、話し合っ、みんなが納得する方法を探したよ。

自分の意見が大切にされたよ。
他者への心遣いを見逃さずにほめました。

自分の意見を大切にされた。

自分は集団の中で大切な存在であると認識する。

自己有用感

振り返り

振り返りとは?
自分自身の活動を見つめ直し、自己の在り方について考えていく活動です。
活動中に感じたことを振り返りで明確にすることで、内面の変容を促すことができます。



振り返りシートⅠ

1 あなたは、発言したとき、どんな気持ちになりましたか。

2 あなたの発言を聴いてもらえたと思いますか。なぜ、そう思いますか。その時、どんな気持ちになりましたか。

3 あなたの発言について「いいな、自分もそうしたいな、頑張ったな。」と思ったことを、班の人に書いてもらいましょう。

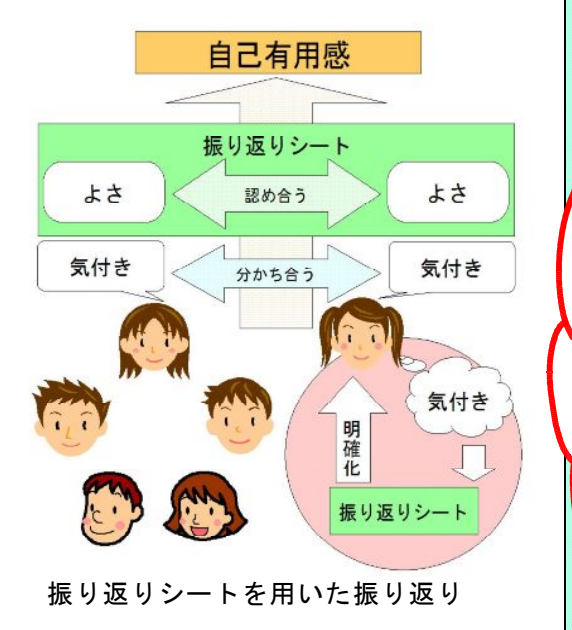
4 みんなが書いてくれた文を読んで感じたことを書きましょう。

先生より

振り返りの手順 1
活動のねらいに対する自分の言動とその時の気持ちについての質問に答えることで、自分の在り方がどうであったか気付くよ。

振り返りの手順 2
気付いたことを述べ合うことで、そういう考えもあるのか・・・と、気付くよ。

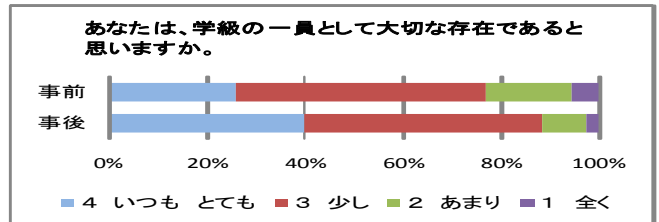
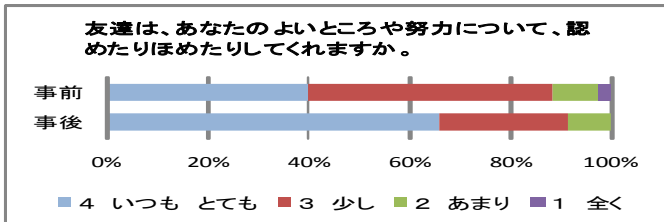
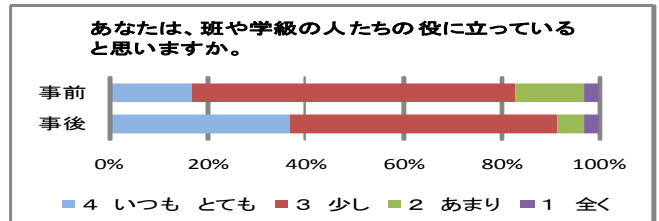
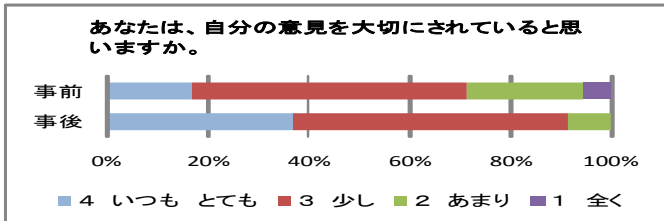
振り返りの手順 3
みんなが私のよさを書いてくれたよ。自分では気付かなかったよさに気付くよ。認められてうれしいよ。



役に立っている。

今回の研究から見えてきたこと

アンケート結果より



児童の声より

- これからも、クラスの人役に立てたらいいなと思った。
- みんなぼくのことを考えてくれてうれしい。一人一人がよくなっている。 など

学級担任より

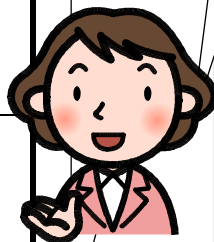
- 話し合い活動で、聴いてもらったという安心感から、穏やかに話すようになりました。
- 授業中、今までは発言しなかった児童も、はっきりと発言するようになりました。
- 児童が、進んで動くようになりました。 など

「話し合いシート」を活用し、話し合いの在り方を工夫したことで、全員が意見を述べたり、他者の意見を聴いたり、折り合いをつけて意見をまとめたり、一人一人の意見を大切にすることができました。その中で、教師は、児童の努力や他者への心遣いを見取ってほめたり、「振り返りシート」で認めたりしました。話し合いで互いの発言を大切にしたり、振り返りで努力を認めあったりしたことは、自己有用感を高めるのに有効でした。

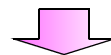
	A男	B子	C男	D子	E男	F子
当日の仕事						
準備						

「話し合いシート」の一部を変更することで、様々な内容の話し合いで活用することができます。

児童の実態や育てたい力に応じて、話し合いⅠから話し合いⅢのいずれかを利用して、指導することも可能です。



振り返りで認め合うことで、自分のよさに気付いたり、自信をつけたりして、意欲的に活動に取り組めるようになりました。また、児童同士の温かいかわりが増えました。



「振り返りシート」に「自己を見つめる欄」と「互いに認め合う欄」を設け、組み合わせて振り返りを行うと、自己有用感を高めるのに有効です。

